

J五改促発第11号
令和4年1月24日

東日本旅客鉄道株式会社
執行役員 八王子支社長 内田 英志 様

J R五日市線改善促進協議会
会長 中嶋 博幸

J R五日市線に関する要望書

寒冷の候、貴社におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和4年3月のダイヤ改正では、J R八高線においてワンマン運転が開始され、朝・夕の中央快速線との直通運転が取りやめとなることにより、J R八高線と連結して中央快速線に直通運転をしているJ R五日市線についても直通運転が取りやめとなることとなり、秋川流域住民及び鉄道利用者から多くの不安の声が上がっています。

貴社におかれましても新型コロナウイルス感染症により社会経済情勢が大きな影響を受けたことにより、非常に厳しい経営環境にあることは重々理解しておりますが、公共交通として鉄道が担う役割の大きさ、使命に鑑みると、秋川流城市町村としましては、秋川流域住民の利便性向上はもとより、各市町村の持続可能な発展のためには直通運転の維持・確保は欠かせないものと考えております。

全国的に人口減少、少子高齢化が進む中、秋川流域の市町村では定住促進や観光振興などに取り組んでいるところであり、今後もこのような生き残りをかけた施策の展開が求められます。その施策の柱となるのが公共交通の活性化であり、鉄道はその根幹となるものであります。

このようなことから、J R八高線の輸送体系の見直しに伴う、J R五日市線の直通運転の取りやめについては、再度検討して下さるよう強く要望いたします。